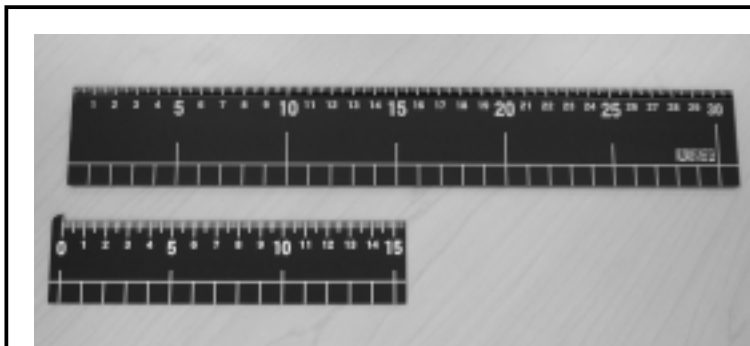


バリアフリー★ムーブメント★ Vol.18 ★★



(写真A) ■ロービジョンスケール
リバーシブル白黒反転、浮上加工で測定しやすい。
15センチ(ストッパー付) / 380円、30センチ / 600円



(写真B) ■新製品クイックルック
手のひらサイズ、超小型カラーTFT液晶モニタ搭載の拡大読書器は、300グラムで持ち運びに便利。薬のビンや、レストランのメニュー、暗くて読めない時などにも活用でき、白黒反転を可能にした。
本体(非課税) 129,000円(日常生活用具対象品)



写真2 大活字を専門に販売する店舗は本店だけ。
「今後も大活字本を充実させていきたい」と市橋さんは話す。

- 店舗の中には以降の6つの項目に分かれており、用途に応じて見やすいように配置されている。
- * Stationary*
 - 〜勉強やお仕事を快適に〜
 - ペンやノート、定規など、勉強や仕事に必要な文具類や、手紙書きガイドやシートなど約40点紹介。
- * Daily & Home*
 - 〜毎日の暮らしにゆとりを〜
 - 音声時計や明るい懐中電灯、財布、小物類等、毎日の暮らしやお出かけグッズ約40点紹介。
 - * Kitchen*
 - 〜お台所をもっと楽しく〜
 - 白黒に色分けされた両面が使えるまな板やキッチンタイマーなどの台所用品から、卓上の調味料入れ、おはしなど、約12点を紹介。
 - * Books*
 - 〜大活字と関連書籍〜
 - 見えにくい人にやさしい大活字本、視覚障害者の暮らしを考える書籍、点字や点訳・音訳の学習本など約150点を紹介。
 - * CCTV*
 - 〜拡大読書器〜
 - 据置型からコンパクトタイプまで、ライフスタイルにあわせて使用できる拡大読書器を紹介。

【大活字カフェ@STOREへのお問い合わせ】
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-1-9
三崎町ビル 4F 株式会社大活字(内)
TEL: 03-3259-2200 / FAX: 03-5282-4362
Eメール: cafe@daikatsuji.co.jp
HP: http://www.daikatsuji.co.jp/

営業時間は、毎週水〜土曜日(祝祭日をのぞく)の午前10時〜午後6時までだが、月曜・火曜の来店の場合は事前に連絡すると来店は可能。
東京千代田区のJR水道橋駅から徒歩3分比較的分かりやすい場所に位置しているが、連絡をすれば水道橋駅まで迎えに来てくれるので、外出に不安のある方も安心だ。

(PR) 財団法人 共用品推進機構 ☎03-5280-0020 / FAX03-5280-2373
URL: http://kyoyohin.org/ E-mail: jimukyoku@kyoyohin.org

6つの項目に分類して見やすいように展示

- * Others*
 - 〜その他〜
 - パソコンソフトや各種点字器、ルーペや遮光サングラスなどを紹介。
- 見えにくい・見えにくい人達のベリリクスとはいえ、近視や遠視など生活習慣や年齢などによりごく普通に見えにくい状態の人にも使える製品がたくさんある。
- 遠くから来店できない方々のためにも、ネット販売や通信販売も行なっているので、是非一度アクセスしてみたいかがたろうか。

「今回のテーマは『見えにくい、見えにくい人のためのグッズ』」
「「牛乳パックの上に行っている切り欠き部分」はどのためか?」「シヤンソーのキキキキは回すところの「な」はどの部分?」
「「口部」は「口部」に配慮されたモノがある。」
「既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてくれるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や商品を紹介していきたいと思う。」
(森川 美和)

店舗を訪れた土井裕美さんは「色々なものがあって楽しい、製品を実際にお店で試して買えるのもうれしい」と話す。
土井さんは、山口県在住の盲ろう者(弱視難聴)で、所要で東京を訪れたが、是非立ち寄ってみたかったところが「大活字カフェ」だと言った。



写真1 製品を実際に試す店舗のスタッフ西陽子さん。

バリアフリー★ムーブメント★ Vol.18 ★★

「いざ」じゃないとき知る知識!
「いざ」というとき引き出す知識!
バリアフリーな社会を生きるため、必要なことを先取りしよう!

【大活字カフェ@STORE】 リニューアルオープン!

(株)大活字は、8月4日東京千代田区に「見えにくい・見えにくい人のための暮らしべりリクスショップ」大活字カフェ@STOREをリニューアルオープンさせた。

平成14年2月にオープン以来、大活字カフェの情報は口コミや情報誌、ネットなどで広がり、店舗へは遠方から訪れる人もい

るほどだ。
店舗への来場者が増え始めたことをうけ、社長の市橋正光さんは、来店される方のためにもっと製品を多くして、気軽に立ち寄って見ていただけるスペースを確保したいと、展示スペースをこれまでの3倍の40㎡に拡大、見えにくい・見えにくい人のためのグッズを分かりやすいように配置し、実際に手にとって確かめられる店舗を8月に開いた。

店舗を訪れた土井裕美さんは「色々なものがあって楽しい、製品を実際にお店で試して買えるのもうれしい」と話す。

土井さんは、山口県在住の盲ろう者(弱視難聴)で、所要で東京を訪れたが、是非立ち寄ってみたかったところが「大活字カフェ」だと言った。

